第16回年次大会のお知らせ

（第一号通信）

拝啓　会員の皆様にはいかがお過ごしでしょうか。

経営行動科学学会（JAAS）の年次大会も今年で第 16 回を迎えることになりました。第 16 回年次大会は、名古屋大学でお引き受けすることになりました。2013 年 10 月 26 日（土）と 27 日（日）の両日、名古屋大学大学院教育・発達科学研究科（愛知県名古屋市千種区不老町）において開催いたします。例年より早めの開催ではありますが、多くの会員の皆様にご参加いただければ幸いです。

第 1 号通信では、発表の種目を紹介しております。今回は、年次大会の構成の簡素化と各報告の質的向上の両立を図るため、報告形式を「研究・事例発表」「大学院セッション」「公開レクチャー」「シンポジウム」と再編すると同時に、「研究・事例発表」「大学院生セッション」をを「報告 30 分、質疑応答 10 分」とするなど、時間構成の変更を行います。また、予稿集の頒布形式の多様化、報告エントリーの柔軟化と厳格化、といった試みも行っております。こういった変化の詳細と趣旨については、本文をご一読いただき、ご理解を賜りたく存じます。

研究者、実務家、学生の枠を超えた活発なやり取りが、充実した豊かな年次大会を創ります。大会準備委員会としても、守るべきものを守りつつも新機軸を織り交ぜることを通じ、これまで以上に活発で意義ある大会となるためできるだけのことをさせていただきます。どうぞ奮ってご参加、ご応募下さいますよう、お願い申し上げます。

敬具

2013 年 5 月

経営行動科学学会　第 16 回年次大会運営委員会

委員長　野口　裕之

1. 第 16 回年次大会の期日と会場

会期：2013 年 10 月 26 日(土)、27 日(日)

会場：名古屋大学大学院教育・発達科学研究科

〒464-8601　愛知県名古屋市千種区不老町

名古屋市営地下鉄名城線「名古屋大学」駅下車　徒歩 3 分

会場へのアクセスについては、以下のサイトでご確認下さい。

http://www.educa.nagoya-u.ac.jp/info/access.html

2. 発表種目

経営行動科学学会では、以下の発表種目について申込みを受けつけます。複数の発表を受付けますので、奮ってお申し込みください。

冒頭でも触れましたが、今回の年次大会では報告形式の簡素化を行いました。また、報告およびその後の質疑応答により多くの時間を割くようにするため、「研究・事例発表」「大学院生セッション」の時間枠を「報告 30 分、質疑応答 10 分」に拡充させました。さらには、「大学院生セ

ッション」が設定された当初の意図を踏まえ、大学院生の方々にエントリーに際して複数の選択肢を持っていただけるようにしました。さいごに、120 分単位のセッションを従来の 30 分単位ではなく 40 分単位で区分することになった点を踏まえ、公開レクチャーの時間枠をトータルで 80 分と設定し直しました。

① 研究・事例発表

単独もしくは共同で実施した、(事例の詳細な紹介を含めた講義の) 実証研究ならびに理論研究について、口頭で報告するものです。今大会においては、大学院生に対しても、この枠にエントリーする資格を付与することとしました。原則として、30 分間の報告と 10 分間の質疑応答を行ないますが、必要に応じて報告時間の変更を行ないます。これは、これまでの時間設定では報告者とフロアの間での意見交換が十分に行えなかったことや、会場間の移動に少なからず支障が出ていたことを踏まえた変化となります。発表の条件として、1,600 字×6 枚以内の発表論文を、大会の前に提出していただきます。

この報告枠は、見方によっては旧来の「事例発表」を「研究発表」に組み入れたものとも受け取ることもできるでしょう。「事例発表」が「研究発表」から独立していた意義については十分に理解しておりますが,「事例発表」を単なる「出来事紹介」に留めないため、つまり詳細な事実報告という意味での「実証」、事実の論理的な整理とそこから新たな知見を引き出すという意味での「理論」に向けて報告者を動機づけるための手段として、統合することにしました。「実証」「理論」という言葉の意味の深さと広さを踏まえ、旧「事例発表」への志向が強い方々も、積極的にこの枠にエントリーしてください。

② 大学院生セッション

大学院生を中心にして、研究者としてのキャリアの途についた方が、自分の考えや研究テーマ、アイデアなどについて自由に発表するものです。原則として、30 分間の報告と 10 分間の質疑応答を行ないますが、必要に応じて報告時間の変更を行ないます。発表の条件として、1,600 字×6 枚以内の発表論文を、大会の前に提出していただきます。

報告枠の再編を検討するにあたり、「大学院生セッション」を「研究・事例発表」に組み入れるという方向に、一度は決まりかけました。ただし、学会設立間もない時期にこの報告枠が設定された背景にさかのぼった結果、独立した報告枠として残すこととなりました。その背景とは、「研究者としての先輩格に当たる人々が報告者の成長を支援する」というものです。「研究・事例発表」に期待される報告者とフロアの間の刺激と緊張に満ちたやり取りとは異質の期待が、そこにはあります。

報告を希望される方々、フロアで傍聴される方々には、この点に思いを致していただければ幸いです。もちろん、学会での報告に刺激と緊張を求められる大学院生もおられるでしょう。そうした方は積極的に「研究・事例発表」の枠にエントリーしてください。

③ 公開レクチャー

経営学、産業･組織心理学、産業社会学、労働経済学、統計学などの領域で注目されるテーマや中心的概念などについて整理をし、講義形式で発表を行なうものです。新しい発見や先端の研究紹介を必ずしも求めるものではなく、基礎的概念の包括的理解や論点の整理、研究の歴史的理解などをめざした発表がここに分類されます。原則として、60 分間の講義と 20 分間の質疑応答を行ないますが、必要に応じて講義時間の変更を行ないます。開催の条件として、1,600 字×6 枚以内の講義概要を、大会の前に提出していただきます。

④ シンポジウム

共通の研究テーマや組織経営問題に関して、数人の報告者が基調報告や研究発表を順に行

ないます。全報告が終了した後に、指定討論者がまとめを行ないます。原則として、1 つのセッションに対し 2 時間を割当てますが、必要に応じて所要時間の変更を行ないます。テーマの設定や司会・発表者・指定討論者などの人選につきましては、代表の方が責任をもって確定してください。開催の条件として、代表の方が 1,600 字× 6 枚以内の報告概要をまとめ、大会の前に提出していただきます。
近年の動向を踏まえ、今回の年次大会では、旧来の「パネル・ディスカッション（公開討論）」「フォーラム」をこの枠に組み入れます。結果として、これまで以上にシンポジウムの内容が多様化すれば、開催者としては大きな喜びです。

- その他、年次大会準備委員会の企画プログラムとして、基調講演、シンポジウム、懇親会等も予定しております。

3. 発表申込み方法

発表の申し込みは、学会のホームページ【http://www.jaas.jpn.org/】から発表申し込み用紙をダウンロードし、必要事項を記入の上、下記の電子メールアドレスに代表者がお送りください。要旨（PDF ファイル）についても、同様に代表者が電子メールでお送りください。

近年、申し込みの体裁や期日が守られないケースが増えております。そのため今回は、発表申し込みがあったにもかかわらず要旨の提出の締め切りが守られない、あるいは所定の体裁からの大幅な逸脱が見られる場合には、原則として取り下げ扱いとします。年次大会の規模の拡大と共に、運営形式の一定以上の合理化が避けられなくなっております。この点にご理解を賜わった上で，「原稿作成に当たっての注意事項（6 ページ）」をご参照ください。

発表申込み〆切　2013 年 7 月 19 日(金)
要旨提出〆切　2013 年 8 月 16 日(金)

連絡先　〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院経済学研究科
江夏幾多郎研究室内
経営行動科学学会第 16 回年次大会運営委員会
Fax: (052)789-2384
E-mail: jaas16nagoya@gmail.com

4. 発表資格

以下の項目にすべて該当する方が一人以上含まれる場合に、報告資格をもちます。

① 年次大会当日に経営行動科学学会の個人会員ないしは法人会員であるか、もしくは入会申込みを済ませていること
② 会員については、年次大会当日までに 2013 年度の年度会費を納入していること

5. 年次大会までのスケジュール

年次大会までの活動と〆切日は、以下のように予定しております。

1.	発表申込み〆切	7 月 19 日
2.	発表論文等の原稿提出〆切	8 月 16 日
3.	年次大会プログラム・参加費振込み用紙の送付	9 月 9 日
4.	年次大会予約参加申込み(年次大会参加費振込み)期限	10 月 4 日
5.	経営行動科学学会第 16 回年次大会	10 月 26・27 日

6. 論文集の電子化とそれに伴う冊子体の扱い

電子書籍やタブレット端末の普及に見られるように、近年の電子化、ペーパーレス化の進展には瞠目すべきものがあります。それに伴い、少なくない学会において、論文集の電子化が推進されております。当学会においても、PC やタブレット端末と論文集を同時に広げながら研究報告を聞く参加者の姿が多く見られるようになりました。旧来の論文集については、紙媒体ならではの良さが依然ある半面、参加者にとっての金銭的負担や重量の大きさといったウィークポイントもないわけではありません。紙媒体の準備に際しては、需要予測の困難さから残部が多く出ることが多く、予算規模の不必要な増大、地球環境への負荷の面からの問題もあります。

そのため今回の年次大会では、(1) 論文集のデータが入った USB メモリを参加者全員に頒布する、(2) 紙媒体の論文集については原則として事前に購入希望のあった方々のみに頒布する、という「折衷案」「両面作戦」をとることとしました。それに伴い、ベーシックな参加費の値上げを行いました。言うまでもなく、電子データに何のメリットも見出さない方には、負担の「純増」となります。が、それと同時に、電子データに紙媒体と同等以上の価値を見出し、紙媒体の論文集を購入されない方にとっては、負担の「純減」となります。紙媒体については、大会当日に購入希望を持たれた方々向けにも若干数（20 部前後。先着順）用意する予定でおります。

学会を取り巻く状況とその中で生じる新たなニーズを踏まえたこの対応に、皆様からのご理解を頂ければ幸いです。

7. 年次大会の参加費

年次大会への参加費として、以下の金額を申し受けます。懇親会費や論文集代を除くベーシックな参加費が例年より高めの設定となっておりますが、これは、すでに述べたように論文集を電子化し、ご参加いただく方全員に、ノベルティを兼ねた USB メモリ配布するためです。9 月に郵送予定の大会プログラムに同封される郵便振替用紙にてお振り込みください。特に紙媒体での論文集の利用を希望される方におかれては、事前の入金を着実に履行していただけるよう、お願いします。

この郵便振替用紙が大会参加申込書を兼ねます。領収書は年次大会当日に発行し、皆さまにお渡しいたします。なお今大会では、昼食時のお弁当の販売を行いません。代わりに、ランチマップをプログラム発送時に同封させます。

年次大会予約参加費 （事前振込みをされた方）		年次大会当日参加費 （事前振込みをされなかった方）	
会員（USB ファイル込み）	6,500 円	会員（USB ファイル込み）	8,000 円
非会員	－	非会員（同上）	8,000 円
会員の大学院生	4,500 円	会員の大学院生（同上）	6,000 円
紙媒体の論文集代	4,000 円	紙媒体の論文集代	5,000 円
懇親会費（会員）	4,000 円	懇親会費（会員）	5,000 円
懇親会費（非会員）	–	懇親会費（非会員）	5,000 円
懇親会費（会員の大学院生）	3,000 円	懇親会費（会員の大学院生）	4,000 円

※非会員の院生の方は、当日の非会員の金額となります。　※非会員は当日受付のみ。

※振込先（郵貯銀行の口座）については、郵便振替用紙発送時にお伝えします。

8. 年次大会についてのお問合わせ

経営行動科学学会第 16 回年次大会に関してお問合わせやご質問等がございましたら、下記までご連絡ください。

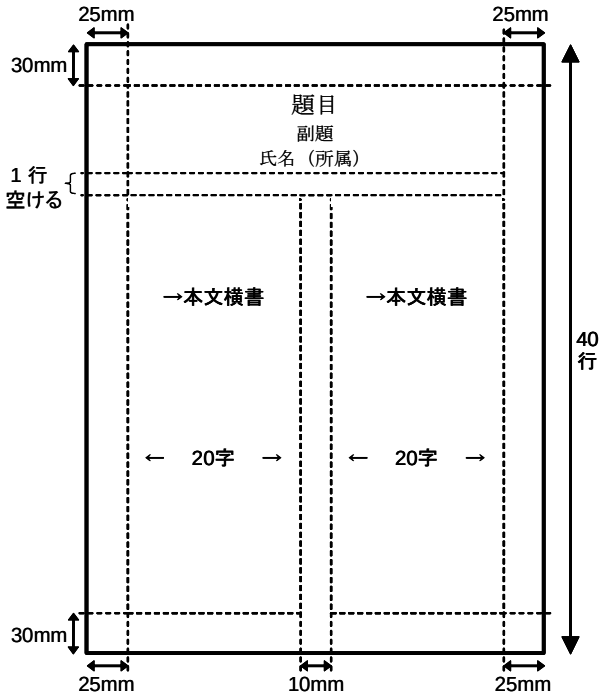
〒464-8601 愛知県名古屋市千種区不老町
名古屋大学大学院経済学研究科
江夏幾多郎研究室内
経営行動科学学会第 16 回年次大会運営委員会
Fax: (052)789-2384
E-mail: jaas16nagoya@gmail.com

原稿作成にあたっての注意事項

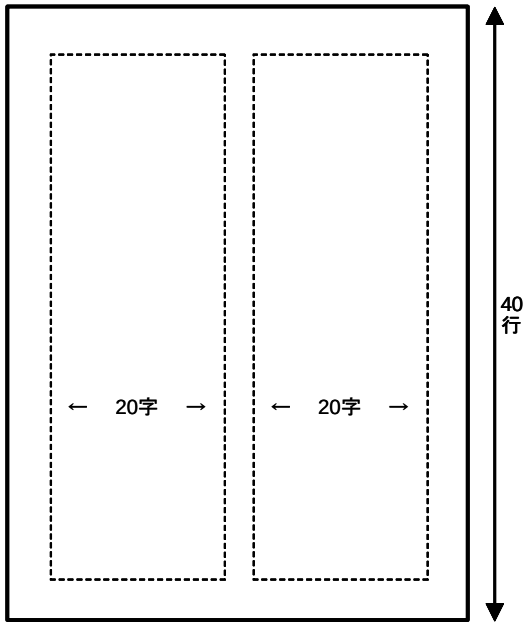
用 紙　A4 版縦長に使用し、原稿を作成してください。

形 式　必ずパソコンを使用し、PDF ファイルに変換してください。手書きの原稿は受理できません。提出された原稿はそのまま印刷されますので、あらかじめ出来上りを確かめてください。

レイアウト　図 1 のレイアウトを参照して原稿を作成してください。すべてのページについて、上下に 30mm、左右に 25mm ずつの余白を設定してください。ページ番号は印字しないでください。



第 1 ページ



第 2 ページ以降

題 目　題目は、1 枚目の 1 行目から 2 行目にかけて、明朝体もしくはそれに準じる書体で、大きめの文字（倍角、14 ポイント程度）を使用し、行の中央の位置に記入してください。副題がある場合には、題目の次行の中央の位置に、明朝体の見やすい大きさの文字を使用して記入してください。

氏名・所属　氏名は、題目（もしくは副題）の下に 1 行分の空欄を設けてから、その下の行(題目・副題の 2 行下)に、明朝体もしくはそれに準じる書体で、標準の文字（10.5 ないし 10 ポイント程度）を使用し、行の中央の位置に記入してください。所属は、氏名に続けて、氏名と同じ行にカッコでくくって、氏名と同じ書体で記入してください。

グループ発表　グループ発表につきましては、参加者氏名の前に、各参加者が担当する役割（司会、指定討論者、基調報告者、発表者、パネリスト、メンバー、その他の別）を明記してください。

本文 1 頁　1 ページ目の本文は、20 字×40 行×2 段（フォントサイズ 10.5 ないし 10 ポイント、字送り 10.5 ポイント、行間 15 ポイント程度）のおよそ 1,600 字の分量で、明朝体もしくはそれに準じる書体で原稿を構成してください。本文は、氏名・所属の下に 1 行分の空欄を設けてから書き始めてください。

本文 2 頁　2 ページ以降の本文は、各ページ 20 字×40 行×2 段（ワープロ使用の場合、フォントサイズ 10.5 ないし 10 ポイント、字送り 10.5 ポイント、行間 15 ポイント程度）のおよそ 1,600 字の分量で、明朝体もしくはそれに準じる書体で原稿を構成してください。

図・表・写真　図、表、写真は原稿に直接挿入してください。